

第一期

国広電鉄

次世代型近未来都市開発  
くにひろまちづくり  
プラン 第一期

未来と今をつなぐ「まち」へ

一大江・坂崎地区

## 大江地区

面積;約 0.795 km<sup>2</sup>(既存の道路等を含む)

所在地;愛知県額田郡幸田町大字高力為永、馬頭、大正、昭和、平成、大字坂崎柳原、大江、櫓畑の一部、出崎、馬頭、平蔵脇の一部、通縄、狐崎、宝六下の一部、船附、与荒子の一部、岡崎市上地町久後原の一部、前阿原の一部、中阿原、大池の一部、等

計画人口;未定 人

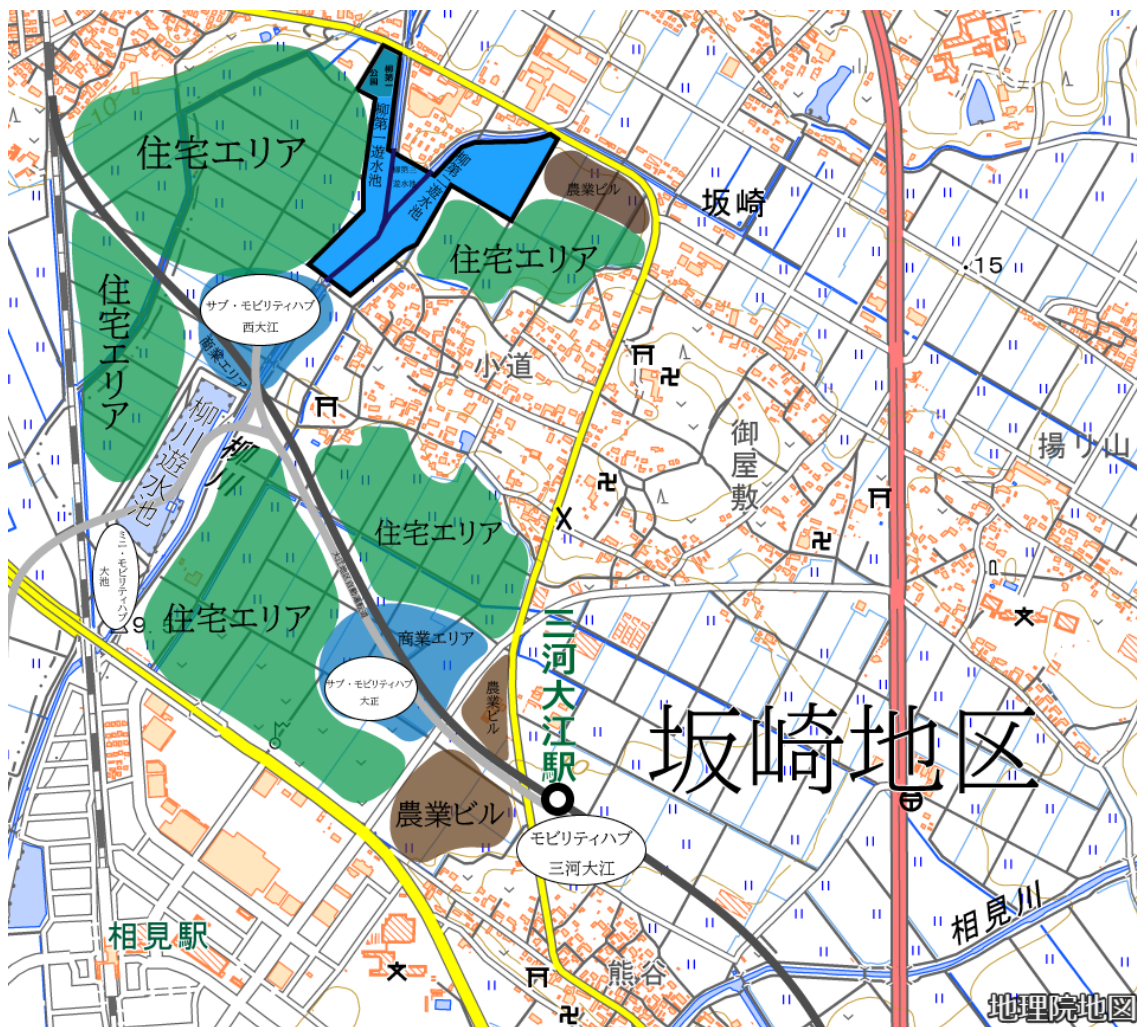
## 坂崎地区

面積;約 0.501 km<sup>2</sup>(既存の道路等を含む)

所在地;愛知県額田郡幸田町大字高力広面の一部、清地の一部、広野、大字坂崎深田の一部、松本の一部、弁天の一部、祐金、仲田、字天神前、広野、等

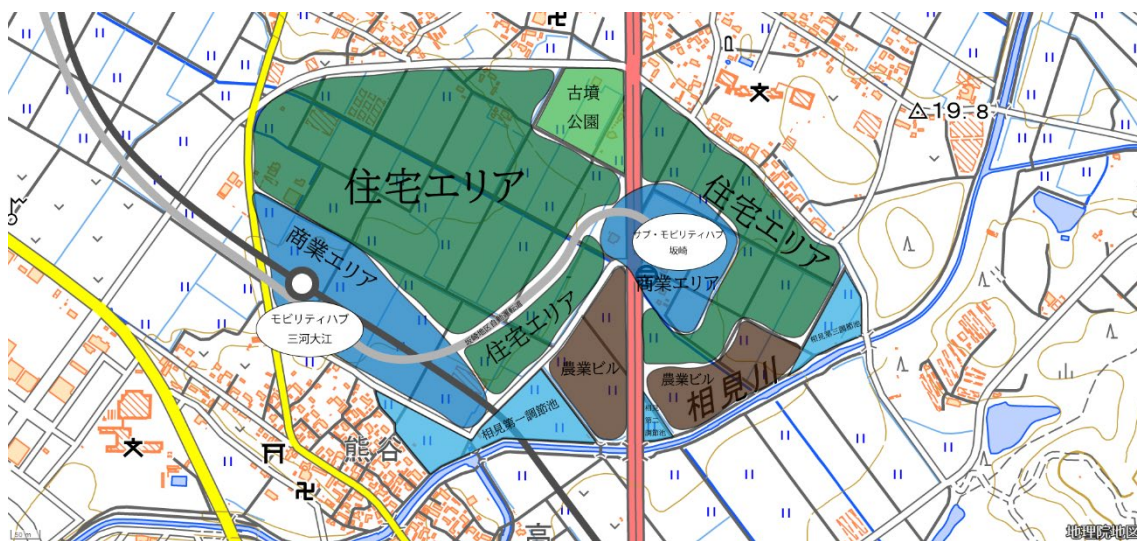
計画人口;未定 人

# 大江地区



([国土地理院](#) [地図](#) を加工して作成)

# 坂崎地区



## モビリティハブ

### モビリティハブ 三河大江

モビリティハブ三河大江では、電気自動車の充電拠点、自動運転車の駅、ドローンポート(将来設置予定、準備工事のみ)、配送業者による荷物の受け渡し、カーシェア、太陽光発電、災害時の防災拠点、道路/施設/観光情報等の集約・配信拠点等、さまざまな機能を終結した施設とする予定です。

### サブ・モビリティハブ 大正

サブ・モビリティハブ大正では、自動運転車の駅、ドローンポート(将来設置予定、準備工事のみ)、配送業者による荷物の受け渡し、太陽光発電、災害時の防災拠点等、さまざまな機能を終結した施設とする予定です。

### サブ・モビリティハブ 西大江

サブ・モビリティハブ西大江では、電気自動車の充電拠点、自動運転車の駅、ドローンポート(将来設置予定、準備工事のみ)、配送業者による荷物の受け渡し、太陽光発電、災害時の防災拠点等、さまざまな機能を終結した施設とする予定です。

### サブ・モビリティハブ 坂崎

サブ・モビリティハブ坂崎では、郵便局、電気自動車の充電拠点、自動運転車の駅、ドローンポート(将来設置予定、準備工事のみ)、配送業者による荷物の受け渡し、太陽光発電、災害時の防災拠点、道路/施設/観光情報等の集約・配信拠点等、さまざまな機能を終結した施設とする予定です。

### ミニ・モビリティハブ 大池

サブ・モビリティハブ大池では、自動運転車の駅、ドローンポート(将来設置予定、準備工事のみ)

み)、太陽光発電等、さまざまな機能を終結した施設とする予定です。

## 調節池・遊水池

### 柳川遊水池(柳川調節池へ変更予定)

柳川遊水池は幸田町大字坂崎馬頭にある遊水池で大江地区にある既存の設備です。将来的には池底を掘り下げ、柳川調節池へ変更予定です。また、調節池へ変更後は上部に公園を設置予定です。柳川遊水池は、下流における柳川、及び広田川等の関連河川の水位を低下させる役割を持っています。

### 柳第一・第二・第三遊水池(柳調節池に変更予定)

柳第一・第二・第三遊水池(以下柳遊水池)は河川の合流地点にあり、バックウォーター現象を防ぐ・被害を小さくするための設備です。災害は待って欲しくないため、大江地区開発の初期段階で浸水被害が発生しないよう、応急的に遊水池を建設し、その後調節池へ変更予定です。

### 相見第一・第二・第三調節池

相見第一・第二・第三調節池は相見川及び関連河川の下流の水位を低下させることを目的として建設予定の調節池です。調整池付近は浸水が想定されていないものの、下流の住宅を浸水被害から守ります。

くにひろまちづくりプラン 第一期  
大江・坂崎地区

---

国広電鉄

— Kunihiro Railway —